

ウガンダと支援と私

実践場所	茨城県	茨城県立伊奈高等学校	実践者	近藤高広
対 象	3年生228名		時間数	6～12時間
担当教科	公民		実践教科	現代社会(国際政治・経済)
ねらい	○アフリカに対する先入観や無知に気づき、ウガンダという国、人を具体的・個別的に捉え直す ○ウガンダに対する日本の支援の実態を学び、支援を自分の問題として捉え直す			
実践内容	回	プログラム	備 考	
	1	ウガンダってどんな国？①	○ワークシート	
	2	① アンケート		
	3	② ウガンダについて調べる(その1)→ウガンダに興味を持つ ・調べた感想を班内で述べあう		
	4	ウガンダってどんな国？②	○ワークシート ○まとめない ○スライド	
	5	① 自然・経済・社会・文化の4テーマ		
		② 知識構成型ジグソー法によるアクティブラーニングで展開 ③ 日本との共通点や相違点に注意させる		
	6	ウガンダってどんな国？③	○ワークシート ○スライド→あくまで自分が見た地域の様子であることを注意させる	
	7	① 一部フォトランゲージの手法により気づきを促す		
	8	② 衣装や楽器、バナナの葉ボール、アクセサリ、簪などの実物に触れる		
	9	ことにより実感を持たせる		
	10	ウガンダと日本	○スライド ○ワークシート ○日本の支援の方針を理解させる	
	11	① 日本の支援の様子を協力隊員や専門家の活動を通して知る ② 支援の必要性和あり方について考える a. 支援は必要なのか b. 相手のためになる支援とは何か c. 自分にできることはあるか、あるとすればそれは何か		
12	まとめ ① カズン作の「The Pearl of Africa」の歌詞を訳す 班で協力して訳す→発表→詞意や成立の経緯を理解 ② 自分なりのイメージを持った上でYouTubeの動画を鑑賞 ③ 授業全体を通じた感想を書かせる			
成果	○スマホという利器を、ゲームやLINEでなく学習に活用する方法を学べた。 ○知らないことの問題性を自覚したり、知って考えることの有用性や楽しさを感じたりできた。 ○国際理解や国際協力(途上国への支援)について自分なりの知識や考えの端緒を持てた。			
課 題	○理解する努力を通じて、理解できないこともあること、それでも協力する必要性も訴えたい。 ○途上国支援が人道的目的だけでなく国益にかなったことであることを意識させきれなかった ○他者に対する興味・関心を喚起するだけでなく、具体的な行動につなげる工夫をしたい			
備 考	○本校では一年生が近隣の特別支援学校との交流も行っており、自分と異なるものとの融和・共生という点では国際理解に通じるものがあり、いじめの撲滅などにも効果があると思われる。JICAの協力を仰ぎながら、国際理解教育についても学校全体かつ継続的な活動にしていきたい。			

1-3 時限目「ウガンダってどんな国？①」

1 子どもの活動の流れ

- ① アフリカについてのイメージを挙げる→班で共有して発表
② アフリカにある 独立国を挙げる→班で共有して発表
③ ウガンダについて調べる
- ＜項目＞ 国名・首都名のいわれ、国旗、人口及び構成、国土面積及び位置、雨温図、GDPなど
- ④ 調べたことから気づいたことを班で話し合う→上記①とのギャップに気付く
1. アフリカの国名や先住民の言葉

2. 未知の文化や習慣

この時限のねらい

1. アフリカやウガンダに対する無知
や先入観に気づく
2. 未知の世界に対する関心を高める

2 子どもの活動の成果・反応

◇アフリカおよびウガンダについては、予備知識はほぼない

黒人、貧困(原始的生活)、紛争、人口爆発、乾燥(砂漠・サバンナ)、食料不足、衛生・医療の不足、などのステレオタイプ＆マイナスイメージの回答が大半。独立国も54カ国中15カ国程度しか挙がらない

◇スマホを使って調べる作業に熱心に取り組んだ

◇班別の話し合いも活発であった→ウガンダが暑くないこと、乾燥していないこと等のギャップに気付いた

3 使用した教材

＜教材1＞ 自作ワークシート ＜教材2＞ 地図帳 ＜教材3＞ ウガンダ国旗

現代社会特別授業「ウガンダと現状と国際協力」ワークシート

1 「アフリカ」にどんなイメージを持っていますか？またはアフリカについて知っていることはありますか？ できるだけたくさん挙げなさい (1分)

黒人が多く住んでいる・発展途上国・貧しい・水が足りない・暑い

2 「アフリカ」にある国名をできるだけたくさん挙げなさい。(2分)

アルジェリア
ナイジェリア

3 「ウガンダ」という国を知っていますか？ Yes ・ No

4 上記3でYesと答えた人、「ウガンダ」についてどんなイメージを持っていますか？
できるだけたくさん挙げなさい

5 あなたは国際支援は必要だと思いますか？

① 必要ない ② 余力があればやってもよい
③ 日本経済が悪い中でも少しは必要 ④ 日本経済が悪い中でも相当に必要
⑤ その他

【そう思う理由】

世界の中で最も貧しい国である日本は、他の国との距離感を意識すべきではない。のちのち経済は良くなるかもしれない。

6 国際理解や国際支援について、あなたにできることは何がありますか？

現地にいく

7 あなたは → 男性 ・ 女性

-1-

③ ウガンダの基本情報

①国名 (いわれ)
 「イカンダ王国のヌブエリ語名称
 にちなんでいる。」 *Buganda - Uganda*
Buganda

②首都名 (いわれ)
 「カンガラの「インボウの丘」に由来し19世紀の
カンガラ王がこの地の丘でインボウを放牧し
していたことからきている。」

③人口 (年度入れる)
 2758万 (2019) 人

④人口ピラミッド (年度入れる) 右上図

⑤国土について
 ○右の地図でウガンダを線で塗りなさい
 ○右の地図に赤道を記入しなさい
 ○右の地図にビクトリア湖を水色で塗りなさい
 ○国土面積……241,000 km²
 ○国旗 この口に書くこと
 ○主要部族……バガンダ族
 ○言語……バガンダ語
英語
ルンダ語
ルンギラ語

⑥雨温図 (カイロ・東京と比較) と気候名

【タンペラ】

【カイロ】

【東京】

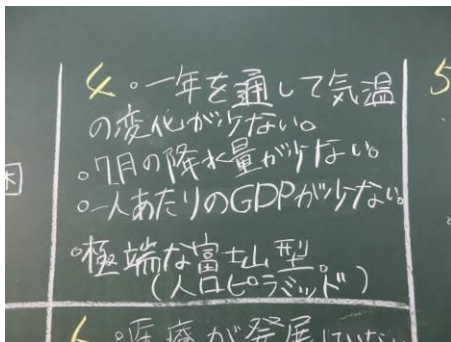
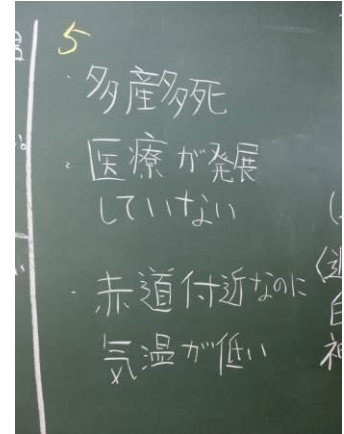
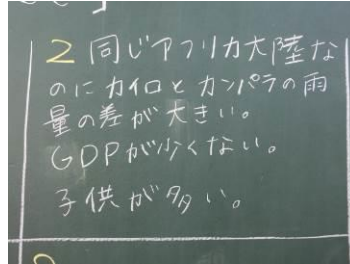
⑦ GDP はどのくらい? (米ドル換算)

国	ウガンダ	サウジアラビア	シンガポール	日本
国民一人あたり	719,229.21	2300.27	548.66	449,824.29
	625	11557052	721177.72	5944024.33

※「ウガンダ 基本情報 統計 国土」等と入力して調べると
 大人が1人あたりが国民一人あたりより2-3 倍高かったらしい



下写真の「医療が発達していない」とは、人口ピラミッドで高齢者が少ない原因を考察した結果の意見



【ウガンダ国旗】
真ん中に描かれたカンムリヅルが民族や宗教の融和の象徴であること、「The Pearl of Africa」というチャーチルの言葉からウガンダの自然が豊かであることに言及した。

4-5 時限目「ウガンダってどんな国？②」

1 子どもの活動の流れ

- ① 知識構成型ジグソー法的アクティブラーニングによるウガンダの全体的イメージを作る
- ② 班内で担当者を決める→自然・経済・社会・文化
- ③ 担当分野ごとに集まって班をつくり、班内で具体的なテーマを振ってスマホで調べる
- ④ テーマ班内で調べたことを発表し合い、原稿をまとめる
- ⑤ 本来の班に戻って分野ごとに発表する。他班の発表をメモする

この時限のねらい

- ① ウガンダの様々な分野について理解する
- ② 自分が調べたことを班内の他者に正確かつ端的にプレゼンする(全員が話し手でありかつ聞き手となる)

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇自分たちで小テーマを設定して分担を割り振っていた
- ◇他者の発表をしっかりと聞くことができた。

3 使用した教材

<教材1> 自作ワークシート

<教材2> スマホ(生徒私物)



発表原稿 テーマ	
内容	
<社会> ①女性の地位 ・とても低い ・家事・育児 ・水くみ ・女性の仕事 ・取り引きのおくりもの (人質売買) ・女性への暴力 ②日本との関わり ・日本から支援 ③内戦 ・ウガンダ北部紛争 (2004年) → 世界1つとい - 政府軍 VS 抵抗軍 ④教育 (小学校) ・日本と比べて生徒数多い ↓ 1995年 教育政策評価委員会 ↓ - UPE政策 (初等教育の完全無料) ↓ - 小中学校の教育アクセスが簡単 ・エンテレ国際空港 ・ポートベル港	<自然> ・気候 - 温暖 (年平均 - 21℃) ・降水量 - 多い ・ (1ヶ月平均 - 1000mm) ・雨季 - 10月~5月 大雨季 ・ (10月~11月) 小雨季 ・地形 - 平均標高 1200m (高原) ・多くの川や湖 (湖) が多量 ・動物 - マウンテンゴリラ ・ゾウ・ワニ・バシビゴウ ・バッファロー ・食物 - パナナ・パッションフルーツ ・マンゴー・パイナップル・じゃがいも ・トロピカル・モリンガ <経済> ・農業 GDP - 45% → 作物栽培が多い ・工業 - JICAによる - ウガンダ・ナカワ職業訓練校 ・替替 - 1木ドル = 約3500ウガンダシリング ・輸出国 - アフリカ中心 (49.99億ドル) ・輸入国 - アジア・他 (75.34億ドル) ・首都カンパラ - 約65万人 (推定) ・約11万人 ・カンパラ - 総合大学・マケレレ大学 ・ウガンダ製造業 - コーヒー豆 (世界14.9製造国)

ウガンダ特選	ウガンダについて調べよう
【調べる項目】	①自然 (気候・地形・動植物) ④文化 (食・服装・音楽・宗教)
②経済 (農業・工業・その他産業・インフラ整備・都市化)	③社会 (内戦・歴史・部族・女性の地位・日本との関わり)
【あなたは調べるものは?】	④
【あなたの班のメンバー】	班長に◎ 書記に○
	◎ 藤原 ○ 阿部 ○ 伊藤 ○ 海老原 ○ 須佐 ○ 中村 ○ 中山
【細かい項目】	宗教・食・服装・音楽
【自分が調べた内容】	★キリスト教 6割 ・伝統宗教 3割 ・イスラム教 1割 ※キリスト教の祝日 (クリスマス) と イスラム教の祝日 (断食明け) の両方の国民の祝日 ・なる人 ・生まれつきのアバシエ ・病気を患った人 ・(アバシエに) 病気を ★アバシエ (ニル) ・アフリカの伝統的な宗教集団 ・土着および外来の聖 (死霊・精霊) などの超自然的存在と交流し、 儀式の執り行い、祭儀・儀式の ・他人に危害を及ぼすものとして 恐れられている ★オムスエジ (個人) ・守らなければならないことがある ・魚など特定の食物を食べられない ・家族と一緒に食事を食べられない ・家族と一緒に寝る場所を離れている
【他の人が調べた】	<食> 伝統的な料理 - ママト ・中南部 - ママト (= made パナ) ・北部乾燥地帯 - カロ ・バナナ - 生産量世界1位 (コンゴ・made 国) ・ボンゴ (= made トウモロコシ) <服装> (民族) ・伝統 - 伝統的な ・ゴメス - 伝統的な ・? - スラックス・白いシャツ (アバシエ) ・ジャケット <音楽> 2013年: ウガンダの3代目 日本人DJ → ウガンダのバグ - を発表しよう <ウガンダ国歌> あー ウガンダの神が歌をうたうように... 私達は 神の歌をうたう だから、共に未来を目指そう 私たちは 共に未来を目指そう

6-9 時限目「ウガンダってどんな国? ③」

1 子どもの活動の流れ

- ① スライドを見ながら、気づいたことをワークシートに記入する
- ② 前時に自分たちが調べた内容との一致点や相違点を確認し、かつその理由を考察する
- ③ 日本との共通点や相違点を確認し、かつその理由を考察する
- ④ 班のメンバーと気づいた点についてコミュニケーションする

この時限のねらい

- ① ウガンダの自然・歴史・文化・生活等を知る
- ② ウガンダ社会を通して日本を振り返る
- ③ 社会の不安定さの原因を考察する

2 子どもの活動の成果・反応

◇都市と農村の格差の大きさに驚いた。

◇ウガンダを身近に感じる事ができた、ウガンダに行ってみたくなった

◇自分たちがとても恵まれた環境で教育を受けていることが分かった

◇自然が豊かで、人々が仲良く楽しく暮らしていて親近感を感じた

◇季候が良く日本よりも過ごしやすそうなのに驚いた

◇キリスト教徒が一番多いことに驚いた(イスラームが多いと思っていた)

◇服や楽器など実際に手に取ってみられて実感が湧き、親近感を持った

◇机や教科書が足りないなど、教育の不十分さを感じた

◇日本では当たり前のことがウガンダでは無いことが分かった→自分の境遇に感謝しなければいけない

※総じて暗いイメージが裏切られて、前向きな部分、当たり前な人の生活を感じたようである

3 使用した教材

<教材1> パワーポイント <教材2> 自作ワークシート

<教材3> 実物教材

バナナの葉サッカーボール, 伝統楽器, 衣装(男女), 箒, コースター, 木の皮の布など



ウガンダ特選 ウガンダってどんな国①

【スライドを見て気づいたこと・考えたこと(自分・友人)】

説明MEMO	気づいたこと・考えたこと(自分・友人)
アフリカ 外観 見えて、赤道線が通る国 赤道線(0度)が通る 赤道線(0度)が通る	赤道線が通る → 赤道線が通る 赤道線が通る → 赤道線が通る 赤道線が通る → 赤道線が通る
ウガンダ 概図 人口 3000万人 → 2000万人 白人 黒人 80%	人口が3000万人 → 2000万人 人口が3000万人 → 2000万人 人口が3000万人 → 2000万人
自然・ 気候 赤道(200mm) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道)	赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道)
カンパラ 市内 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道)	赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道)
農村 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道)	赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道)

【ウガンダはどういう国だと感じるか?】 国日本との違い、長所、短所、気候など

自分
赤道(赤道) 赤道(赤道)
赤道(赤道) 赤道(赤道)
赤道(赤道) 赤道(赤道)

友人
赤道(赤道) 赤道(赤道)
赤道(赤道) 赤道(赤道)
赤道(赤道) 赤道(赤道)

【授業の感想】 赤道(赤道) 赤道(赤道)
赤道(赤道) 赤道(赤道)
赤道(赤道) 赤道(赤道)

ウガンダ特選 ウガンダってどんな国②

【スライドを見て気づいたこと・考えたこと(自分・友人)】

説明MEMO	気づいたこと・考えたこと(自分・友人)
教育 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道)	赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道)
都市・内 観・概図 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道)	赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道)
日本との 比較 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道)	赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道) 赤道(赤道)

【ウガンダはどういう国だと感じるか?】 国日本との違い、長所、短所、気候など

自分
赤道(赤道) 赤道(赤道)
赤道(赤道) 赤道(赤道)
赤道(赤道) 赤道(赤道)

友人
赤道(赤道) 赤道(赤道)
赤道(赤道) 赤道(赤道)
赤道(赤道) 赤道(赤道)

【授業の感想】 赤道(赤道) 赤道(赤道)
赤道(赤道) 赤道(赤道)
赤道(赤道) 赤道(赤道)

10-12 時限目「ウガンダと日本」

1 子どもの活動の流れ

- ① スライドを見て、印象に残ったことや気づいたことなどをワークシートに記入する(特に協力隊員の思い)
- ② 国際支援は必要なのか、必要とすればできる支援は何かを考える(班で話し合う)→例にフェアトレードを紹介
- ③ カズンの「The Pearl of Africa」を班で協力して和訳する→詩を作ったウガンダの生徒達の心情を思いやる

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇日本とウガンダの関係の深さに驚いた
- ◇技術だけでなく、教育制度などの支援もできるといいと思った
- ◇人々の仲の良さなど日本が見習うべき所もあると感じた
- ◇紛争が終わるなど平和でないと支援もなかなかできないのではないかと考えた
- ◇フェアトレード商品を買う、正しく知るなど自分が日本にいてもできることをやろうと思った
- ◇日本の借金がこれ以上膨らまない程度に支援すべきだと思う
- ◇相手の自立を目指して技術協力をしているのがいいと思った
- ◇ウガンダの子ども達ははっきりした夢を持っていてスゴイし、部族に誇りを持っているのもスゴイ。こうした良さを消さないように支援することが必要
- ◇支援することでむりやりグローバル化や効率化に巻き込むことはウガンダにとってマイナス面もあると思う

3 使用した教材

- <教材1> パワーポイント <教材2> 自作ワークシート <教材3> 協力隊員作成のTシャツ
- <教材4> 「The Pearl of Africa」のYouTube 動画、歌詞カード
- <教材5> フェアトレード商品写真と実物



日ウガ共同制作の歌「The Pearl of Africa」
アフリカの真珠

班で協力して日本語訳しよう！
ウガンダの子ども達の明るい未来を祝福し、日本の良い友人となれるような訳し方をしてみよう！

It's so dark It's so cold There's hunger It's a desert, no schools And kids can't go to school They have to work (work, work, work, work) For Uganda, to be the pearl of Africa It's so fun It's so green There's music We will never have wars All kids'll go singing to school They love to dance (dance, dance, dance, dance) For Uganda, the pearl of Africa Come and see my country, Uganda Come and see my home. Feel at home here in Uganda We love, we laugh We work together We thrive Determined all the way Oh Uganda! Beautiful Uganda! Everybody loves Uganda (woo) Ever dreamed of working together, one world family Oh Uganda! Wonderful Uganda! Everybody loves Uganda! We love Uganda!	暗闇に包まれる、寒さで身を刺す、 飢え、砂漠ばかりで学校がない。 子供達は学校へ行かない。 仕事のお金をつづける。(働き、働き、働き、働き) アフリカの真珠、ウガンダのため。 喜びにあふれる、緑に囲まれている。 この歌に聴いて、二度とは争うまい。 子供達は、その声で学校を揺るがす、ダンスを習得。 (舞え、踊り、踊り、舞え) アフリカの至宝、ウガンダのため。 ウガンダを感じ、そこに故郷を見い。 僕等は愛し、私達は笑い、私達は生きる、僕等は成長する。 ウガンダを、愛する。
--	---

1 授業の様子

＜写真1＞



【スマホを使って作業する生徒】

＜写真2＞



【話し合いの結果気づいたことを班ごとに板書し、比較する】

＜写真3＞



【班長を中心に自分が調べたことを共有する。人の話をきちんと聞く姿勢も大切】

【授業全体への生徒の感想】

- ◇勝手なイメージを持つのではなく、積極的に正しい知識を身につけようとするのが大切だと思った
- ◇他の国についても調べてみたいと思った
- ◇「アフリカ」でなく「ウガンダ」を見る必要があると思った。日本も「アジア」でなく「日本」を見て欲しいから
- ◇何も知らずに過ごすのはもったいないと思った
- ◇世界に視野を広げてみると、いろんな文化や歴史があることが分かった

【授業全体を通した生徒の変容】

- ◇遠い存在だったウガンダ(アフリカ)を身近に感じるようになった。
- ◇途上国の人々の生の姿を見て、自分たちと同じ人間、同じ生活であることを感じた。
- ◇授業を終えてイメージが変わったと答えた生徒が殆どであった→多くはプラスの方向の変容が見られた
- ◇フェアトレード商品を買うなど何か自分にできることをやろうと思った生徒が多かった
→青年海外協力隊に入るなど現地へ行って何かしたいと書いた者も数名いた
- ◇日本を見つめ直すきっかけになった→自分が恵まれた環境にいることに感謝し頑張ろうと思った生徒も数名いた

【授業を通した自分の感想】

- ◇途上国の様子を具体的に知る機会がなかったので、純粋に楽しんでくれたと思う。ウガンダに親近感を持った生徒がとても多く、それだけでも意義がある授業になったと思う。話し合いや発表も積極的にできた。聞く姿勢もあったと思う。
- ◇知ることの必要性、逆に言えば無知であることの罪深さを認識できた生徒が思ったより多かった。また、行ってみたいとか、何かできることをしたいなどと前向き、意欲的な意見も見られたのは嬉しかった。受容、寛容、共生について、自分の問題として考える端緒にはなったのではないかな
- ◇日本を再確認する機会となった。当たり前の日々が当たり前ではないことが分かった。18才選挙権を鑑みると、これについても、今の状況を維持していくために自分が何をできるかということを考える、行動することにつなげて欲しいと思う。また、日本の支援の様子や相手国からの感謝などを知ることにより、日本(ひいては自分)に対して肯定的な思いを持った生徒もいたことも嬉しかった。
- ◇調べ学習や発表を多く取り入れたが、思ったより時間がかかった。そのため授業プランが狂い、中途半端なものになった。こうした点を考えるともっとポイントを絞るべきだったかもしれないが、いろいろな視点から総合的にウガンダそのものや途上国の問題を考えてもらうには必要な時間だった。今後の検討課題である。

2 参考文献・資料

- 1) ウガンダを知るための53章 吉田昌夫・白石壮一郎 明石書店 2012

以上